

スズキ、インドで新型「CELERIO(セレリオ)」を発売



新型「CELERIO」

スズキ株式会社のインド子会社マルチ・スズキ・インド社(マルチ・スズキ)は、全面改良したコンパクトカーの**新型「CELERIO(セレリオ)」**を発表した。11月よりインドで販売を開始し、順次中南米、中東、アフリカなどへ輸出も開始する。

「CELERIO」は、2014年にインドで発売して以来、コンパクトなボディーに広い室内と荷室で好評を得ている主力モデルである。今回、初めて全面改良を行った**新型「CELERIO」**はスタイリングを一新し、新たなエンジンとプラットフォームを採用することで軽量化と燃費向上を図り、足回りや荷室の空間を広げた。

エクステリアは、精悍なヘッドライトとアグレッシブなフロントグリルを採用することで印象的な表情とし、ボディーは抑揚のある曲線によって、躍動感のある形状に仕上げた。インテリアは、シートなどのレイアウトを改善することにより足回りの空間を広げ、さらに快適性を向上させつつ十分な荷室容量を確保した。加えて、スマートフォンと接続可能な7インチタッチパネル式ディスプレイオーディオを採用した。

燃焼効率の良いデュアルジェットエンジンを、軽量で高剛性のプラットフォーム HEARTECT(ハーテクト)に搭載した。トランスミッションは、5速MTに加え、MTをベースとしたクラッチ操作の不要なオートギヤシフト(AGS)を用意し、幅広い需要に応える。

2020年度のインド乗用車市場は約271万台で、そのうちの約半数は**新型「CELERIO」**のようなハッチバックが占めている。マルチ・スズキは、エントリーカーやセカンドカーユーザーを主なターゲットとした**新型「CELERIO」**を投入することで、新規や乗り換え需要の獲得を狙う。生産はマルチ・スズキのマネサール工場で行う。

●新型「CELERIO」の主要諸元

- ・全長 3,695mm×全幅 1,655mm×全高 1,555mm
- ・エンジン:1.0Lガソリン
- ・トランスミッション:5MT/AGS